

**「東日本大震災」被災地復興支援 内閣総理大臣杯争奪
第40回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表**

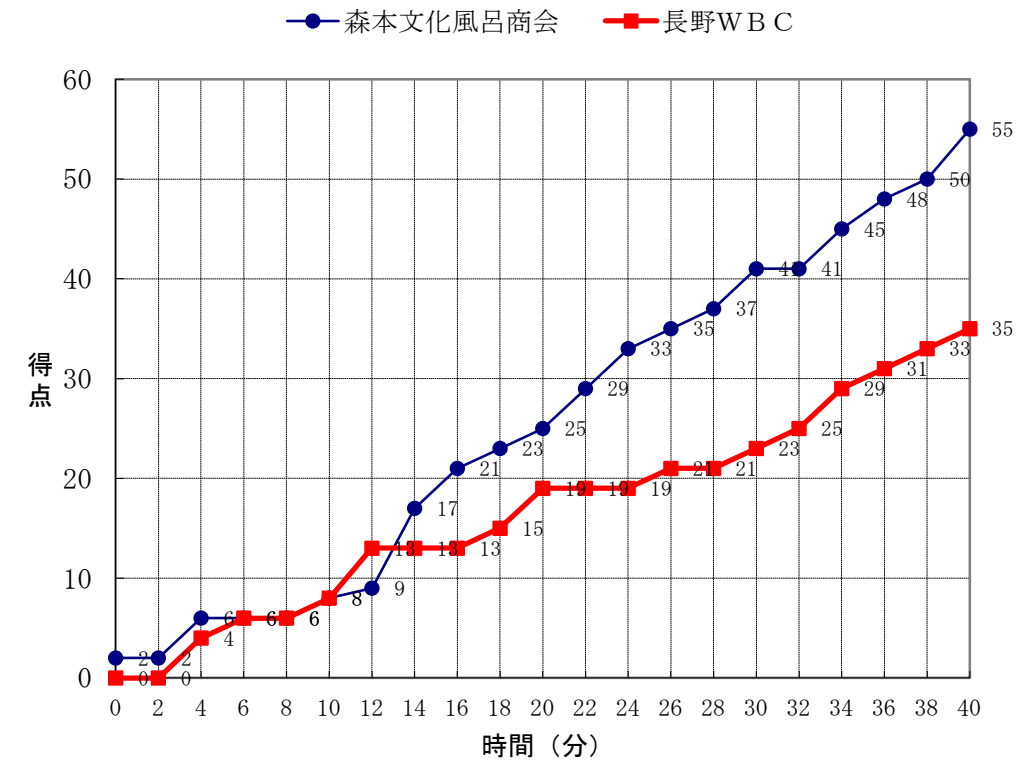
1回戦		2012年5月2日 16時40分開始			
		東京体育館		D - 2	

◎ 森本文化風呂商会 (関東)	55	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td>8</td><td>1クォーター</td><td>8</td></tr> <tr><td>17</td><td>2クォーター</td><td>11</td></tr> <tr><td>16</td><td>3クォーター</td><td>4</td></tr> <tr><td>14</td><td>4クォーター</td><td>12</td></tr> </table>	8	1クォーター	8	17	2クォーター	11	16	3クォーター	4	14	4クォーター	12	35	長野WBC (甲信越)
			8	1クォーター	8											
17	2クォーター	11														
16	3クォーター	4														
14	4クォーター	12														

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 5	三枝 達也 (3.5)	8	0	4	0	-	-	1	5	柴田 悠 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
8	森本 哲也 (2.0)	10	0	5	0	-	-	2	6	熊谷 悟 (3.0)	2	0	1	0	-	-	1
10	三宅 智 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-	* 7	矢口 敦也 (1.0)	0	0	0	0	-	-	3
* 11	前田 憲造 (4.5)	24	0	10	4	-	-	2	8	太田 文武 (1.5)	0	0	0	0	-	-	0
* 12	三橋 亨 (1.0)	2	0	1	0	-	-	2	* 10	高原 健二 (2.0)	0	0	0	0	-	-	2
* 13	古川 和基 (2.0)	0	0	0	0	-	-	4	* 11	中村 慶佑 (4.5)	16	0	7	2	-	-	2
* 14	石川 正 (2.5)	11	0	5	1	-	-	1	* 12	寺尾 剛 (2.0)	2	0	1	0	-	-	2
									* 13	藤沢 潔 (2.0)	9	0	4	1	-	-	4
									14	奥原 明男 (2.0)	6	0	3	0	-	-	1
									15	宮沢 武利 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-
HC	富田 謙一								HC	奥原 明男							
AC	森本 哲也								AC	東 英恵							
マネージャー	森本 美智子								マネージャー	益田 涼子							
マネージャー	三枝 千春								マネージャー	川上 梓							
マネージャー	添田 智恵								マネージャー	太田 伸江							
トレーナー	前田 瞳																
合計		55	0	25	5	0	0	12	合計		35	0	16	3	0	0	15

主審： 山下 和男
副審： 福田 典子
副審： 小池 匡弥

得点経過



[戦 評]

[1 Q]

森本が5, 11, 12, 13, 14、長野は7, 10, 11, 12, 13の森本ボールでスタート。序盤よりお互いにディフェンスを崩し切れず、ミドルシュートの打ち合いとなり、森本が先制する。後半になると、お互いにディフェンスを崩すがミスが多く、8対8で終了。

[2 Q]

森本は引続き5番と11番、長野は11番と途中交代した14番を中心に攻撃を仕掛け、長野の13番と14番の連続ポイントで点差を広げるが、ディフェンス時にインサイドに入られることが多くなり、逆に得点を許す場面が多くみられる。長野は終了間際にも連続ポイントを重ねるが25対19で森本がリードして前半終了。

[3 Q]

両チームとも試合の流れをつかめないまま後半戦へ突入。先手を取ったのは森本。長野は森本のディフェンスを崩せず、ミドルを打つがオフェンスリバウンドが取れずに攻撃が単調となる。その流れで長野7番がインテンショナルファールを取られ、徐々に森本がペースをつかむ。長野は11番がインサイドに切り込み3Q開始6分で初得点を挙げる。残り3分で森本が5ファールで長野にフリースローを与えるが、長野は決めきれず流れは完全に森本へ。

[4 Q]

開始直後、長野が2本連続でミドルを決めるが、コートを広く使う森本の攻撃にディフェンス陣が掻き回され、一進一退の攻防となる。4Q開始3分から、長野はディフェンスをプレスに切り替え、徐々に森本のミスが目立ち始めるが、長野は流れを掴みきれず、結局このままゲームは終わり、55対35で森本が勝利した。

(担当：森崎／関本／渡井)